

令和7年度最適化活動の目標の設定等

都道府県名：岐阜県
農業委員会名：郡上市農業委員会

I 農業委員会の状況(令和7年4月1日現在)

1 農業委員会の現在の体制

任命・委嘱年月日令和5年3月1日

農業委員数	農業委員	
	定数	実数
	19	19
	認定農業者	—
	認定農業者に準ずる者	—
	女性	—
	40代以下	—
	中立委員	—

任期満了年月日令和8年2月28日

	定数	実数	担当区域数
農地利用最適化推進委員	19	19	7

2 農家・農地等の概要

経営体数		農業者数(人)		経営体数(経営体)	
総農家数	3,319	基幹的農業従事者数	1,086	認定農業者	142
農業経営体数	1,287	女性	367	基本構想水準到達者	
※ 直近の「農林業センサス」又は「農業構造動態調査」に基づいて記入		40代以下	73	認定新規就農者	13
		※ 直近の「農林業センサス」又は「農業構造動態調査」に基づいて記入		農業参入法人	10
				集落営農経営	8
				特定農業団体	
				集落営農組織	8

※農業委員会調べ

単位:ha

	田	畑				計
			普通畑	樹園地	牧草畑	
耕地面積	2,050	751				2,800

※ 直近の「耕地及び作付面積統計」に基づいて記入

II 最適化活動の目標

1 最適化活動の成果目標

(1)農地の集積

①現状及び課題

現状	管内の農地面積(A)	これまでの集積面積(B)	集積率(B)／(A)
	2,800 ha	886 ha	31.6 %
課題	中山間地域による農業従事者の高齢化、相続による非農家や市街在住者の増加といった後継者の不在により、農地が遊休化していくことから、今後は農地中間管理機構等との調整が必要となる。		

※1 農地面積は、直近の「耕地及び作付面積統計」における耕地面積を記入

※2 「農地の集積」は、経営局長通知の別表1に掲げる者への農地の集積をいう

※3 「集積面積」は、局長通知別表1に掲げる者へ集積された農地の面積をいう(以下同じ。)

②目標

農地の集積の目標年度	令和12年度	集積率	78%
今年度の新規集積面積	20ha	農地面積(C)	2,800ha
今年度末の集積面積(累計)(D)	906ha	(目標)今年度末の集積率 (E)=(D)/(C)	32.3%

※ 農地の集積の目標年度及び農地集積率には、設定した目標の根拠とした目標の目標年度及び当該目標年度における農地集積率を記入

(2)遊休農地の解消

①現状及び課題

現状	直近の利用状況調査により判明した遊休農地の状況		
	1号遊休農地面積	うち緑区分の遊休農地面積	うち黄区分の遊休農地面積
	181ha	103ha	78ha
課題	相続による非農家や市外在住者所有の農地が増加している。 草刈り等による保全管理が困難となり遊休化する懸念がある。		

②目標

ア 既存遊休農地の解消

a 緑区分の遊休農地の解消

令和3年度の利用状況調査における緑区分の遊休農地面積	3ha
緑区分の遊休農地の解消目標面積	0.6ha

※ 緑区分の遊休農地の解消目標は、令和3年度の利用状況調査における緑区分の遊休農地面積の5分の1の面積を記入

b 黄区分の遊休農地の解消

令和3年度の利用状況調査における黄区分の遊休農地	0.1ha
黄区分の遊休農地の解消のための工程表の策定方針	黄色区分となる農地の把握から取り掛かる

イ 新規発生遊休農地の解消

前年度に新規発生した緑区分の遊休農地の解消目標面積	3ha
---------------------------	-----

(3)新規参入の促進

①現状及び課題

現状	令和4年度新規参入者	令和5年度新規参入者	令和6年度新規参入者
	3経営体	2経営体	2経営体
	0.38ha	0.89ha	0.55ha
課題	新規就農するために必要となる技術の習得、所得や経営農および居住地の確保を行うための調整が必要である。		

※ 現状欄は、直近3年度の新規参入した経営体数と当該経営体の経営面積の合計の農地面積を記入

②目標

権利移動面積	令和4年度	令和5年度	令和6年度	平均
	38ha	28ha	36ha	34ha
新規参入者への貸付等について農地所有者の同意を得た上で公表する農地の面積	3.4ha			

※1 過去3年間の権利移動面積は、農地法(昭和27年法律第229号)第3条第1項に基づく許可及び農業経営基盤強化促進法第19条に基づき公告された農用地利用集積計画による権利移動面積(有償所有権移転(所有権に基づいて耕作の事業に供していたものに限る。))及び賃借権の設定並びに利用権の設定に限る。)を記入

※2 目標面積は、過去3年度の権利移動面積の平均の1割以上を記入

2 最適化活動の活動目標

(1) 推進委員等が最適化活動を行う日数目標

1人当たりの活動日数	10 日／月	最適化活動を行う 農業委員の人数	19 人
		農地利用最適化推進委員の 人数	19 人

(2) 活動強化月間の設定目標

活動強化月間の設定回数	3 回
-------------	-----

取組時期	取組項目	強化月間の内容
7～11月	②遊休農地の解消	現地確認等の実施(農地パトロール活動の強化)
8～10月	①農地の集積	利用権設定満期到達者への機構事業による更新の推進
11～12月	①農地の集積 ②遊休農地の解消	担い手への情報提供(貸付希望農地、遊休農地)

※1 取組項目欄は、①農地の集積、②遊休農地の解消、③新規参入の促進のいずれかを記入

※2 強化月間の内容欄は、活動強化月間の具体的な取組の内容を記入

(3) 新規参入相談会への参加目標

新規参入相談会への参加回数	1 回
---------------	-----

開催時期	令和8年1月	相談会名	ぎふアグリチャレンジフェア
参加者数	1	開催場所	OKBふれあい会館
相談会の内容	・岐阜県の新規就農支援制度の紹介 ・就農者の体験発表 ・就農支援情報の提供や農業法人の雇用情報の提供		
開催時期		相談会名	
参加者数		開催場所	
相談会の内容			

※ 新規参入相談会への参加回数欄は、推進委員等が1名以上参加する相談会の数を記入
(参加者数によらず、1名以上が参加する新規参入相談会ごとに1回とする)